

秀島鼓溪（ひでしまこけい）（1/2）

～巖木町浦川内庄屋・教育者～

秀島鼓溪は天明5年（1785年）浦川内（現在の巖木町浦川内）の庄屋の家で生まれました。

14歳で、馬場村（相知町）の進藤確齋の塾に入門しましたが、家の都合で泊まって勉強することができず、毎日、浦川内村から馬場村まで12キロメートルの山道を往復しました。

17歳で浦川内の庄屋見習いになり、文化元年（1804年）19歳の若さで父の職を継いで庄屋になりました。鼓溪は進藤確齋の下で多くのことを学び、それを実際の浦川内の村の政治にいかそうと希望に燃えました。

しかし、幕末の混乱期でもあり、理想的な村の政治を行うことができない状況でした。鼓溪の理想は、「農民は安らかに生活し、老人は家で、人の進む道を学ぶ」というものです。

鼓溪は文政6年（1823年）、自宅近くに明倫塾を開き、庄屋の仕事をしながらか若い人々の教育をしました。その塾では、「良い行いをした人をほめてあげると、だれもが進んで良い行いをするようになる。そうすると、罰を与える必要はなくなる」という考え方で教育を進めました。

天候の異変による天保の大飢饉（農作物が実らず、食物がなくなり飢え苦しむこと）が発生し、人々は苦しみました。そのような時、当時幕府領だった巖木地方では、天保9年（1838年）から金比羅嶽騒動が始まりました。百姓、庄屋ともに、取り調べが行われ、天保12年その裁きが長崎奉行所であり、鼓溪は庄屋側の一人として責任を取らされ、浦川内村を追放されました。

鼓溪は、巖木村に移り室園に嘉永2年（1849年）会輔塾を開き、子どもたちの教育に携わりました。その後、75歳になった万延元年（1860年）には中島村に転居し龍門に五惇堂を開いて子弟の教育を始めました。その教えを受けたものは数百人に達しました。

～2/2へつづく～

分野 人物

地域 巖木

◎地図・写真・統計資料など



秀島 鼓溪
(1785～1871)

(『郷土につくした人々』より)

◎引用・参考文献（出典）

◆『郷土につくした人々』
～ふるさと唐津の偉人たち～

◎エピソード・伝承・うんちく など

■秀島鼓溪の書き残した書物

- ・鼓溪笥記・・・庄屋になった文化元年から亡くなるまで、欠かさず記録したもの、全77冊。毎年村の家数、男女の数、村役人の名前や年貢の内容。有名な人々の短歌や文書、思いつくままに書いた文章などが書いてあります。
- ・積慶録・・・全5冊、唐津藩内の教育に関するもの。
- ・農桑道利・・・全14冊、農作物の栽培方法や植えつけについての注意、蚕の飼い方、農業についての注意事項が書いてあります。
- ・松浦記集成・・・全5冊、付録4冊。唐津の古い記録を探し集めたもので、唐津地方の古文書として大切な記録となっています。
- ・報国志・・・全35冊。嘉永6年、ペリーが浦賀に来航以来、明治維新までの江戸幕府と諸藩のいろいろな事件を記録しています。
- ・邇言録・・・全28冊。星空のこと、地理のことなどについて書き記しています。

◎もっと詳しく知りたい方は

唐津市近代図書館へ
お問い合わせください。

■電話：0955-72-3467

■ホームページ：
http://tosyokan.karatsu-city.jp/hp/cnts_lib/index.html

秀島鼓溪（ひでしまこけい）（2/2）

～巖木町浦川内庄屋・教育者～

～1/2からつづく～

鼓溪は、非常に優れた学者で、多くの書物を残しました。庄屋になった文化元年から亡くなるまでの毎日の記録である『鼓溪笥記』、現在の唐津市内で立派な文章を書き記した人良い行いをした人について書いた『積慶録』、農業について書いた『農桑道利』、唐津市内の古い記録を集めた『松浦記集成』、アメリカのペリーが黒船で神奈川県の浦賀に來航してから明治維新までの記録である『報国志』、地理や天文について書いた『邇言録』などです。

鼓溪が書いたものは全部で173冊になり、郷土の歴史の研究のために欠かせない貴重な史料です。これらの本は『秀島家文書』として唐津市重要文化財に指定されて大切に保管されています。

鼓溪は明治4年（1871年）、惜しまれつつ86歳でこの世を去りました。

巖木小学校は、中島の真伝寺の仮校舎で始まりましたが、最初の校舎は、鼓溪が開いた五惇堂付近に建てられました。鼓溪の教え子たちは明治22年（1889年）、巖木小学校前に「鼓溪秀嶋先生碑」を建て、先生の遺徳をしのびました。その記念碑周辺は現在も地元の牧瀬婦人会の人たちで清掃作業が行われています。

分野 人物

地域 巖木

◎地図・写真・統計資料など



「鼓溪笥記」万延2年より



「農桑道利」巻之11除蝗より

（『郷土につくした人々』より）

◎引用・参考文献（出典）

◆『郷土につくした人々』
～ふるさと唐津の偉人たち～

◎もっと詳しく知りたい方は

唐津市近代図書館へ
お問い合わせください。

■電話：0955-72-3467

■ホームページ：
http://tosyokan.karatsu-city.jp/hp/cnts_lib/index.html